

教 育

1	概 况	397
2	青 少 年 育 成	398
3	学 校 教 育	401
4	图 书 馆	415
5	熊 本 博 物 馆	419

1 概況

少子高齢化、価値観の多様化、経済的格差の拡大など、社会は著しく変化しており、子どもたちを取り巻く環境についても、いじめの社会問題化や少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、多くの課題を抱えている。また、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。

このような中、規範意識や社会性、思いやりの心、自立心をはぐくみ、生涯を通して健康で生きがいのある人生を求める意識の高揚とともに、社会の著しい変化に柔軟に対応できる必要な知識・技能の習得と、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などの育成が重要となっている。また、学校はもとより、家庭や地域の教育力を高め、子どもたちの健やかな成長を支える仕組みづくりが求められている。

こうした背景を踏まえ、平成28年（2016年）3月に策定された熊本市総合計画の基本計画においては、3つのまちづくりの重点的取組のうち、「安心して暮らせるまちづくり」に具体的な取組を掲げて施策の展開を図っている。

教育委員会では、平成28年（2016年）3月に、本市の教育、文化及びスポーツの振興に関する総合的な目標や施策の基本となる指針として策定された「熊本市教育大綱」をもって熊本市教育振興基本計画に代えることとした。さらに、本基本計画の策定に伴い、平成28年度（2016年度）からは、「熊本市第7次総合計画」との整合性を図りながら、市長が定めた「熊本市教育大綱」の「施策の基本方針」及び「重点的取組」に関連する事業で実施計画を策定し、進捗管理を行っている。

令和2年（2020年）4月1日現在、第2期となる熊本市教育大綱（令和2～5年度）を新たに策定中である。

【参考】

（1）令和元年度（2019年度）熊本市教育方針

本市教育は、恵まれた自然と先人が築いた伝統文化のもとで、社会の進展に対応する教育を構築しながら、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、「徳・知・体」の調和のとれた次代を担う子どもたちの育成に努めるとともに、市民が生涯にわたって、健康で生きがいと潤いのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指す。

このような教育を推進するにあたり、学校・家庭・地域社会は、人間尊重の精神を基本にしながら、それぞれの責任と使命を自覚し、連携して取り組むこととする。

（2）令和元年度（2019年度）年度教育目標

- ◎人権尊重の理念のもと、学校・家庭・地域社会における様々な教育活動を通して、社会全体で子どもたちの「社会を生き抜く力」を育成する。
- ◎多様な教育機能の整備・充実を図り、歴史的文化遺産を継承し、市民の生涯にわたる自発的な学習活動を奨励・支援する。

（3）熊本市教育振興基本計画（熊本市教育大綱）（平成28～令和元年度）

基本理念

徳・知・体の調和のとれた人づくり ～教育都市くまもとを目指して～

（4）取組の方向

- 1 徳・知・体の調和のとれた教育の推進
- 2 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- 3 安全で良好な教育環境の整備
- 4 学校教育と福祉の連携の推進
- 5 生涯を通して学び、その成果を地域に活かすことができる環境の整備
- 6 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- 7 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

(5) 重点的取組

- 1 いのちを大切にす心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応
- 2 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
- 3 教員が子どもと向き合うための体制の整備
- 4 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

2 青少年育成（青少年教育課）

心豊かなたくましい青少年を育むため、社会参加活動への支援や青少年育成環境の整備を進める。特に児童育成クラブの充実など、放課後児童対策を強化するとともに、多様な青少年問題に対応するため、青少年センター活動の中で非行防止活動や広報啓発活動を充実させる。

(1) 青少年健全育成推進事業

「生きる力」を備えた青少年の健全な育成が図られるよう、地域における青少年の活動を支援するとともに支援体制を整える。

ア 熊本市青少年問題協議会

熊本市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法に基づく本市の附属機関として設置。青少年問題全般に関する協議を行うとともに、関係行政機関相互の情報共有を行う。事務局は本市青少年教育課に置く。

委員構成	市長・市議会議員・教育委員会委員・学識経験者・関係行政庁職員
任期	在職期間（ただし学識経験者は2年）
事業内容	協議会の開催

イ 熊本市青少年指導員協議会

熊本市青少年指導員協議会は、熊本市教育委員会から委嘱を受けた青少年指導員によって、自らの資質の向上と連携の強化を図るため、平成元年5月に自主的に結成された任意団体。

(2) 児童育成クラブ

目的	放課後児童（保護者が労働等により昼間家庭にいない児童）とその保護者に対し、児童育成クラブを開設し、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を支援する。
開設日	4月1日～翌年3月31日（日曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
開設時間	平日：児童の下校時間～午後6時 土曜日及び長期休業期間：午前8時～午後6時
支援員	508名（令2.5.1現在）
巡回指導員	17名（令2.5.1現在）
開設状況	公営）80箇所6,033名（民営）15箇所663名（令2.5.1現在） ※開設時間、支援員、巡回指導員については、各民営クラブにより異なる。

(3) 青少年センター活動

ア 業務内容

街頭指導、関係機関及び団体との連携、青少年非行・被害防止に関する啓発活動、青少年指導にかかる調査及び資料収集、青少年に有害な影響を与える環境の浄化、その他青少年非行・被害防止のための必要な事項。

イ 青少年指導員

（令2.5.1現在）

区分	推薦について	人員(人)
有償ボランティア	校区青少年健全育成協議会及び自治協議会等の推薦	244
	計	244

ウ 指導状況

① 実施状況

街頭指導実施状況	年 度	H27	H28	H29	H30	R1
年間街頭指導実施回数 (回)		888	831	902	934	861
従事した青少年指導委員延人員 (人)		4,341	3,925	4,038	4,404	3,987
指導した青少年の総数 (人)		3,397	1,898	1,772	2,774	3,054

② 学職別・行為別指導状況

(単位 人)

学職別	行為別 年度	喫 煙	怠 学	遊技施設内 声かけ指導	交通指導	帰宅指導	その他	計
小 学 生	H29	-	-	79	6	38	1	124
	H30	-	1	87	-	18	19	125
	R1	-	-	62	2	27	6	97
中 学 生	H29	-	2	286	20	84	10	402
	H30	2	-	367	1	52	15	437
	R1	-	1	414	-	66	40	521
高 校 生	H29	-	8	794	41	236	40	1,119
	H30	3	35	1,940	28	140	30	2,176
	R1	2	18	2,171	37	105	32	2,365
そ の 他	H29	-	-	72	25	18	12	127
	H30	7	-	9	18	2	-	36
	R1	8	-	47	16	-	-	71
計	H29	-	10	1,231	92	376	63	1,772
	H30	12	36	2,403	47	212	64	2,774
	R1	10	19	2,694	55	198	78	3,054

エ 熊本市小学校生徒指導協議会・熊本市中学校生徒指導委員会・熊本市高等学校生活指導連盟との連携

熊本市小学校、中学校、高等学校における児童・生徒の指導を目的とした調査、研究、連絡調整等を行う教職員組織との相互連携による生徒指導活動を展開する。

オ 家庭環境づくりの啓発事業（健全育成懇談会～地域で育てる青少年～）

“非行防止は家庭から”“家庭づくりは親子の対話から”と言われるように、家庭のあり方が青少年に与える影響は大きなものがある。家庭における子どもの問題を中心に考えながら青少年の健全な育成と明るい家庭づくりについての話し合いの機会をもつために講師、助言者を派遣する。

(4) 家庭教育の推進

家庭の教育力向上のため、保護者等を対象にした家庭教育の大切さについて啓発するための学習機会や、情報を提供している。

ア 家庭教育セミナー

家庭教育力の向上のため、主に小・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもとの接し方、また社会的ルールやしつけ等を学ぶ講座を実施している。小中学校やPTAとの連携により、保護者の多く集まる機会等を捉えた開催に努めている。

イ 家庭教育地域リーダー養成講座

P T Aや地域活動に積極的に取り組んでいる方を対象に家庭教育地域リーダー養成講座を開催し、地域の核となって家庭教育を推進するリーダーを育成する。

(5) 青少年教育

子どもたちが様々な野外体験活動等を通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動（野外活動等）の安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。

ア 青少年教育施設

恵まれた自然環境の中で、集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るために、小中学校の集団宿泊や青少年団体等を受け入れるとともに主催事業を行う。なお、全棟（体育室を除く）にわたる屋根の不具合に伴い、平成31年度（2019年度）の受け入れを4月15日から中止した。

① 金峰山少年自然の家

所在地 西区池上町3071-5
 開設年月日 昭和50年（1975年）10月1日
 定員 200人
 施設内容 宿泊棟（児童用23室・引率者用2室・バリアフリー1室・バリアフリー浴室）
 研修室・体育室・食堂・浴室・保健室・事務室・つどいの広場・野外炊飯場
 屋外多目的ハウス

利用状況

(平31.4.1現在)

年度 団体名	H26		H27		H28		H29		H30	
	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)
小学校	96	23,322	87	22,156	87	13,667	70	16,736	78	20,891
中学校	3	262	10	1,670	3	340	2	240	3	308
少年団体	32	2,769	20	1,397	7	719	17	1,148	20	1,221
その他の団体	7	2,146	18	4,200	5	2,506	13	4,015	9	2,818
主催事業	15	1,684	12	1,048	6	338	9	760	11	1,012
合計	153	30,183	147	30,471	108	17,570	111	22,899	121	26,250
稼働率 (%)	78.8		77.3		66.5		60.7		67.1	

(注) 稼働率 (%) = (利用日数 / 開所日数) × 100

(6) 青少年の交流

国内外の友好姉妹都市との間で、青少年の交流活動を通して、両市の友好と親善を深める。

ア 国際交流 (令和元年度 (2019年度))

① 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業 (受入)

期間 令和元年 (2019年) 7月28日～8月6日 (9泊10日)
 団員 20人 (高校生団員15、役職員5)

イ 国内交流 (令和元年度 (2019年度))

① 熊本市・福井市小学生交流事業

期間 (受入) 令和元年 (2019年) 8月1日～4日 (3泊4日)
 (派遣) 令和2年 (2020年) 1月10日～13日 (3泊4日)
 団員 16人 (小学生団員12、役職員4)

3 学校教育

現在、いじめの社会問題化、少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、子どもたちを取り巻く環境は、憂慮すべき状況になっている。

このような中で、今求められているのは、子どもたち一人一人が「豊かな心」を育み、「確かな学力」を身に付け、「健やかな体」を育む教育、グローバル化の進展や情報ネットワーク社会の到来など社会の変化に対応した教育、さらには、子どもたちが社会の変化に柔軟かつ積極的に対応しながら、より一層、一人一人の個性、能力を最大限に伸ばす教育を進めていくことなどである。

そこで、以上のような視点を踏まえ、子ども一人一人の個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育むきめ細かな教育を推進するため、平成28年（2016年）3月に策定した「熊本市教育振興基本計画」に基づき、具体的な施策の展開を図っていく。

また、平成30年（2018年）3月「学校改革！教員の時間創造プログラム」を策定し、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向けた取組を総合的かつ計画的に推進している。

令和2年度（2020年度）の主な事業は次のとおりである。

- ・豊かな心を育む教育の推進（道徳教育総合支援事業、水俣に学ぶ肥後っ子教室経費 他）（教育センター、指導課）
- ・確かな学力を育む教育の推進（教育の情報化推進経費※1、外国語教育推進経費※2、高校改革関連経費※3 他）
（指導課、教育センター、学校改革推進課）

※1 教育の情報化推進経費

令和2年度（2020年度）から全面実施となる新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善や、プログラミング教育の導入が求められており、これらを実現するため、平成30年度（2018年度）から3ヶ年で電子黒板や実物投影機・タブレット端末といった教育におけるICT環境整備を全小中学校で進めている。

※2 外国語教育推進経費

外国語指導助手（ALT）を活用し、グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方を実現するための体制を整備する。

※3 高校改革推進経費

市立高校及び市立総合ビジネス専門学校の改革に係る基本計画の策定等を行う。

- ・健やかな体を育む教育の推進（いのちを守る教育推進経費、学校プール再編検討経費 他）（健康教育課、指導課）
- ・教員が子どもと向き合う時間の拡充（学校給食費等管理経費、部活動指導員配置経費 他）（健康教育課、指導課）
- ・教育相談体制の充実（いじめ・不登校対策経費、スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業、スクールカウンセラー（SC）配置事業 他）（総合支援課）
- ・特別支援教育の推進（特別支援学級教室改修経費、スクールバス運行経費（あおば支援学校分） 他）（学校施設課、総合支援課）
- ・最適な学習環境の整備（学校施設長寿命化関連経費 他）（学校施設課）
- ・図書館・博物館の機能充実（特別展等開催経費、図書館管理運営経費 他）（博物館、図書館）

(1) 市内学校数 (指導課)

(令 2.5.1 現在)

区分	校種別	大 学	短 大	高 校	特別支援学校	中 学	小 学	幼	合計
国		1			1	1	1	1	5
県		1		11	4				16
市				2	2	42 (1)	92	6	144 (1)
私		6	1	14		9		24	54
合 計		8	1	27	7	52 (1)	93	31	219 (1)

(注) () は分校の数を別掲 区分中の「国」は独立行政法人(旧国立熊本大学)

(2) 市立学校児童生徒数 (教職員課)

校種別	区 分	学校数	学級数	児童生徒	教員数
幼 稚 園		6	20	265	45
小 学 校		92	1,635	40,704	2,481
中 学 校		42 (1)	685	19,044	1,336
高 等 学 校		2	42	1,617	114
特別支援学校		2	16	93	54
専 修 学 校		1	7	108	11
合 計		145 (1)	2,405	61,831	4,041

(注) () は分校の数

(令 2.5.1 現在)

(3) 児童生徒数の変遷 (教職員課)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2
児 童 生 徒 数	小学校	40,236	40,747	41,045	40,922	40,704
	中学校	19,854	19,574	19,077	18,932	19,044

(各年度 5.1 現在)

(4) 学校施設の現況 (学校施設課・教職員課)

ア 小学校施設の現況

(令 2.5.1 現在)

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	壺川	393	22	14	4,341	594	9,104	
2	碩台	149	13	8	3,610	594	12,093	
3	白川	452	24	18	4,288	919	12,908	
4	城東	197	14	9	4,444	725	15,397	
5	慶徳	137	22	10	4,268	919	6,563	
6	一新	390	23	16	4,345	725	12,615	
7	五福	264	21	13	3,158	804	6,682	昭 52.10
8	向山	500	27	18	4,123	725	16,652	
9	黒髪	467	33	18	5,477	796	10,472	
10	大江	664	37	26	4,544	725	11,724	
11	本荘	53	11	6	4,083	894	11,533	
12	春竹	505	33	21	5,444	1,049	15,465	
13	古町	123	13	7	2,840	532	11,184	
14	春日	265	21	14	4,349	725	14,224	昭 49. 9
15	城西	691	37	25	6,311	1,170	20,277	昭 60. 9
16	花園	406	21	14	4,893	945	17,199	昭 57.10
17	池田	437	21	16	4,962	594	12,569	
18	出水	433	24	16	4,657	826	11,682	
19	白坪	475	32	18	5,658	945	16,004	
20	画図	1,015	48	34	6,775	919	17,278	昭 54.10
21	砂取	455	26	17	4,686	1,119	18,074	
22	健軍	586	44	24	6,930	945	25,678	
23	清水	531	34	23	5,741	1,036	16,849	昭 49. 9
24	日吉	380	26	16	5,453	976	15,199	昭 55. 4
25	川尻	496	27	20	5,184	1,049	22,553	昭 60. 9
26	力合	530	31	20	5,001	594	16,836	昭 60. 4
27	御幸	633	32	23	4,939	1,039	18,787	昭 52.10
28	田迎	457	23	17	4,619	1,203	13,513	昭 62. 3
29	高橋	105	10	6	1,912	666	7,271	
30	池上	252	18	12	3,705	919	16,088	平元. 5
31	城山	713	40	28	5,347	924	24,427	昭 57. 4
32	託麻原	653	33	24	6,555	1,049	21,748	
33	秋津	555	30	21	4,933	923	16,104	
37	泉ヶ丘	388	21	15	4,801	919	18,362	
38	小島	251	22	13	2,856	1,093	12,462	
39	龍田	622	34	24	5,633	850	14,556	昭 62. 8
40	帶山	798	48	28	6,156	1,069	20,252	
41	中島	237	16	11	3,060	532	13,529	
42	白山	528	30	20	5,038	1,049	20,199	
43	若葉	396	23	16	4,619	1,049	18,784	
44	城北	423	28	19	5,422	1,017	18,958	昭 60. 9
45	尾ノ上	701	41	27	5,923	792	21,434	昭 55.11
46	西原	671	39	25	5,215	792	19,084	昭 49. 9
47	高平台	617	31	22	5,370	945	26,678	昭 49. 9
48	楠	227	20	11	6,325	802	18,318	
49	託麻東	1,083	58	40	5,344	725	25,225	
50	託麻西	835	47	32	6,589	945	18,873	昭 52.10

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
51	託麻北	531	27	21	4,126	920	15,971	昭60.4
52	桜木	456	27	19	6,361	725	20,806	昭49.9
53	東町	535	38	23	5,945	1,436	20,272	昭54.10
54	麻生田	441	27	19	5,221	945	20,193	
55	武蔵	403	21	14	4,971	945	18,102	
56	帯山西	575	30	20	4,319	725	17,965	
57	月出	486	30	20	5,916	945	24,258	昭55.11
58	出水南	789	43	27	6,005	945	16,287	
59	健軍東	263	18	12	5,960	725	21,385	昭58.3
60	城南	259	21	13	3,978	725	22,633	昭57.12
61	田迎南	777	42	30	4,170	725	25,702	昭58.3
62	弓削	287	19	13	3,012	695	18,594	昭58.3
63	託麻南	960	49	33	7,073	725	21,601	昭60.4
64	山ノ内	594	33	22	5,535	724	28,949	昭61.10
65	榆木	513	31	20	3,824	918	18,859	
66	川上	561	34	23	4,667	745	24,479	
67	西里	327	26	17	4,375	1,161	35,546	平22撤去
68	北部東	725	38	26	4,976	1,337	19,179	
69	芳野	74	13	8	1,993	797	13,124	
70	河内	157	13	8	2,890	862	12,417	昭49.3
71	飽田東	515	28	21	3,196	680	12,155	
72	飽田南	202	16	11	1,420	680	11,835	
73	飽田西	147	13	8	1,541	680	12,072	
74	中緑	49	8	5	1,560	401	9,738	
75	銭塘	103	12	7	2,179	378	12,246	
76	奥古閑	141	12	7	3,167	680	13,329	
77	川口	63	11	7	2,273	420	12,066	
78	長嶺	1,004	51	37	6,326	1,049	24,672	平17.4
79	日吉東	494	28	19	3,799	919	26,118	
80	桜木東	547	32	20	3,456	919	26,103	
81	富合	779	40	26	3,924	919	22,239	
82	杉上	351	22	16	3,616	802	25,000	
83	隈庄	777	44	28	4,466	800	15,151	
84	豊田	220	17	10	3,469	800	23,084	
85	植木	409	28	16	3,611	919	20,728	
86	山本	80	12	7	2,582	797	14,595	
87	田原	99	16	8	2,607	797	23,182	
88	菱形	241	17	11	3,970	920	22,793	
89	桜井	302	21	13	4,090	920	24,413	
90	山東	166	13	8	3,320	922	22,154	
91	吉松	165	15	8	3,425	919	16,267	
92	田底	114	13	8	2,723	541	14,577	昭52.6
93	田迎西	656	34	24	6,057	1,226	22,285	
94	力合西	695	37	25	4,711	1,199	33,342	
95	龍田西	533	32	22	6,333	1,201	23,029	
合計		40,704	2,481	1,635	413,064	79,359	1,660,961	

イ 中学校施設の現況

(令 2.5.1 現在)

番号	学校名	生徒数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	出水	914	50	28	7,386	1,322	25,654	昭 48.10
2	白川	569	33	20	6,140	1,222	28,765	昭 48.10
3	藤園	278	30	14	5,601	1,138	22,788	昭 48. 4
4	花陵	435	30	15	5,957	994	20,331	昭 48.10
5	城南	407	29	15	6,038	1,138	24,459	昭 47.10
6	京陵	688	43	23	7,673	1,222	29,457	昭 48. 4
	清水が丘分校	8	10	1			26,094	
7	西山	495	32	18	6,225	1,463	29,968	昭 49.10
8	江南	201	20	10	3,519	1,138	23,240	昭 48. 4
9	江原	261	29	12	4,433	981	25,360	昭 49.10
10	竜南	322	23	11	4,870	981	18,629	昭 48.10
11	桜山	172	17	7	4,394	981	19,596	昭 48. 4
12	湖東	410	34	17	5,759	1,138	28,502	昭 47.10
13	託麻	1,047	61	34	6,847	1,222	24,430	昭 48.10
14	三和	524	34	17	4,715	981	21,813	昭 48. 4
15	城西	214	21	11	4,188	779	13,784	昭 48.10
16	帯山	944	58	30	7,902	1,277	25,675	昭 48. 4
17	東野	453	30	17	5,829	1,222	19,304	昭 48.10
18	錦ヶ丘	774	49	25	6,934	1,476	20,062	昭 48.10
19	二岡	434	29	15	4,409	770	23,580	昭 48. 4
20	東部	415	29	16	4,704	734	21,422	
21	楠	397	27	13	6,939	724	24,570	平 20. 3
22	西原	646	42	22	6,943	1,124	29,588	
23	武蔵	357	27	12	4,864	780	22,407	昭 56. 6
24	東町	395	28	16	7,622	1,020	21,500	昭 58. 3
25	出水南	635	38	20	4,794	780	27,592	昭 58. 3
26	清水	488	33	18	6,294	1,222	22,702	
27	井芹	288	23	11	5,313	981	29,318	
28	北部	665	41	21	5,815	1,261	25,944	平 19.10
29	芳野	25	10	3	2,458	910	31,550	昭 55. 5
30	河内	62	14	4	2,993	2,007	15,238	昭 49. 3
31	飽田	365	25	12	3,730	1,280	15,260	
32	天明	154	16	8	3,918	1,133	22,867	
33	長嶺	993	59	33	7,165	1,221	41,148	
34	力合	492	34	17	4,449	981	30,006	
35	龍田	601	39	21	5,056	981	27,384	平 18. 4
36	日吉	420	30	16	5,035	981	30,581	平 17. 4
37	桜木	519	31	18	5,752	981	26,307	
38	富合	287	24	12	4,141	1,368	31,915	昭 58. 8
39	下益城南	552	36	20	6,894	1,772	28,777	
40	鹿南	295	24	12	5,178	981	28,885	
41	五霊	325	27	13	4,193	1,032	25,798	
42	植木北	118	17	7	3,293	984	26,209	
	合計	19,044	1,336	685	226,362	46,683	1,078,459	

※清水が丘分校の保有面積については、借用地のみ記載。

ウ 幼稚園施設の現況

(令 2.5.1 現在)

番号	園名	園児数	教員数	学級数		園舎保有面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
				通常	通級		
1	碩台	20	8	3	3	817	1,272
2	一新	40	5	3		914	3,143
3	向山	34	12	3	7	889	2,943
4	川尻	36	8	3	3	788	2,380
5	楠	44	5	3		595	2,197
6	隈庄	91	7	5		875	3,341
合計		265	45	20	13	4,878	15,276

※ 碩台幼稚園 教員数には、ことばの教室の3人が含まれる。

※ 向山幼稚園 教員数には、ことばの教室の7人が含まれる。

※ 川尻幼稚園 教員数には、あゆみの教室の3人が含まれる。

エ 高等学校

市立必由館高等学校概要

明治44年(1911年)に創立し、創立109年という長い歴史と伝統を持つ高等学校であり、平成13年(2001年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科9クラス(普通科6、国際コース1、芸術コース1、服飾デザインコース1)編制となった。

多様化する生徒の進路希望に対応して、選択授業や少人数学習などを取り入れ、大学進学を目指した教育課程を編成するとともに、多彩な芸術・文化活動、体育活動にも力をいれており、輝かしい成果を残している。正しい判断力と真摯な実践力を身に付けるとともに、国際社会や地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に取り組んでいる。

市立千原台高等学校概要

昭和32年(1957年)に商業高校としてスタート以来64年目を迎えた高等学校であり、平成12年(2000年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科2クラス(国際経済コース1、健康スポーツコース1)、情報科3クラス(OA会計コース2、経営情報コース1)の二つの学科を持つ高校となった。

普通科においては、大学や専門学校など、コースの特性を生かして上級学校への進路希望の実現を図るとともに、情報科においても生徒のニーズに応じて、進学、就職に対応できるよう、専門教育を中心とした学習内容の充実に取り組んでいる。また、ハンドボールや陸上競技、自転車競技などスポーツの伝統校でもある。

施設の概要

(令 2.5.1 現在)

番号	学校名	生徒数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
					校舎	屋内運動場	
1	必由館	1,047	68	27	14,504	2,546	46,219
2	千原台	570	46	15	7,071	3,774	55,434
合計		1,617	114	42	21,575	6,320	101,653

オ 特別支援学校

平成さくら支援学校概要

平成29年（2017年）4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とする特別支援学校高等部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「自立・夢・挑戦」を校訓とし、夢を育み、何事にも挑戦していく生徒の育成をめざし、卒業後の自立と社会参加に向けて、家庭や地域と連携して、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めている。

施設の概要

（令2.5.1現在）

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積（㎡）		校地面積（㎡）
			校舎	室内運動場	
平成さくら支援学校	70	29	4,746	971	21,602

あおば支援学校概要

令和2年（2020年）4月に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とする特別支援学校小中学部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「明るく なかよく おおらかに」を校訓とし、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、将来の自立と社会参加のための基盤となる「生きる力」を育成する教育を進めている。

施設の概要

（令2.5.1現在）

学校名	児童生徒数		教員数	建物保有面積（㎡）		校地面積（㎡）
	小学部	中学部		校舎	室内運動場	
あおば支援学校	14	9	25	3225.1	173.9	4,507

2校は、本市における特別支援教育の充実に向け、学校を含む関係機関や保護者に対して、研修及び教育相談等の拠点機能を担っている。

カ 専修学校

総合ビジネス専門学校概要

昭和24年（1949年）に創立して72年目を迎える。平成3年（1991年）に新町段山校舎より上熊本の現在地に移転した。建学の精神は「無名にして有力 役に立つ人間」。卒業生は8,300名を超え熊本市を中心に地域の企業等で活躍している。全国に2校しかない「商業系公立専門学校」であり、就職率は高く地域に貢献している。

総合ビジネス科（昼間2年専門課程）は、情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービスの3コースがあり、情報・簿記・観光に関する「社会のニーズに応える実践的なビジネス教育」と、「マナーと教養を身につける人間教育」をめざしている。卒業時に「専門士」の称号を得て、短大卒と同等の待遇を受ける。

OA経理科（夜間1年一般課程）は、簿記と情報のビジネス実務教育を行う。専門知識や技能の修得をめざす方が学ぶ。

施設の概要

（令2.5.1現在）

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積（㎡）		校地面積（㎡）
			校舎	屋内運動場	
総合ビジネス専門学校	108	11	3,727		4,399

キ 校舎の整備状況

(令 2.5.1 現在)

区 分	校 舎 面 積 (㎡)				普 通 教 室 数				特 別 教 室 数				
	学 校 数	基 準 面 積	保 有 面 積	過 不 足 面 積	学 校 数	基 準 数	保 有 数	過 不 足 数	学 校 数	基 準 数	保 有 数	過 不 足 数	
小 学 校	基 準 未 満	54	276,647	227,770	△ 48,877	41	884	764	△ 120	32	331	230	△ 101
	基 準 以 上	38	158,931	184,606	25,675	51	797	805	8	60	558	772	214
	合 計	92	485,578	412,376	△ 23,202	92	1,681	1,569	△ 112	92	889	1,002	113
中 学 校	基 準 未 満	21	135,293	114,739	△ 20,554	18	353	312	△ 41	10	138	113	△ 25
	基 準 以 上	22	99,497	111,623	12,126	25	335	348	13	33	441	586	145
	合 計	※ 43	234,790	226,362	△ 8,428	43	688	660	△ 28	43	579	699	120

※学校数は分校を含む

ク 屋内運動場の整備状況

(令 2.5.1 現在)

区 分	学 校 数	基 準 面 積 (㎡)	保 有 面 積 (㎡)	過 不 足 面 積 (㎡)	
小 学 校	基 準 未 満	74	82,381	60,828	△ 21,553
	基 準 以 上	18	17,330	18,531	1,201
	合 計	92	99,711	79,359	△ 20,352
中 学 校	基 準 未 満	32	40,134	31,784	△ 8,350
	基 準 以 上	11	13,194	14,899	1,705
	合 計	※ 43	53,328	46,683	△ 6,645

※学校数は分校を含む

(5) 特別支援学級設置状況 (総合支援課・教職員課)

(令 2.5.1 現在)

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学級数	児童数	教員数	学級数	児童数	教員数	学級数	児童数	教員数
知 的 障 害 学 級	121	647	159	51	242	63	172	889	222
自 閉 症 ・ 情 緒 障 害 学 級	121	665	160	60	370	86	181	1,035	246
肢 体 不 自 由 学 級	21	31	25	14	16	14	35	47	39
院 内 学 級	2	6	6	3	6	5	5	12	11
病 弱 学 級	17	21	18	5	7	5	22	28	23
弱 視 学 級	2	2	2	0	0	0	2	2	2
難 聴 学 級	8	16	9	6	9	6	14	25	15
合 計	292	1,388	379	139	650	179	431	2,038	558

(6) 中学校卒業者の進路状況 (指導課)

(令 2.5.1 現在)

進路別		区分	男	女	合計	比率 (%)
卒業生		総数	3,306	3,077	6,383	100
進学者	高等学校の本科	全日制	3,078	2,933	6,011	94.17
		定時制	30	15	45	0.70
		通信制	92	90	182	2.85
	高等専門学校		70	20	90	1.41
	合計		3,270	3,058	6,328	99.14
専修学校・各種学校 公共職業訓練施設等			13	4	17	0.27
就職者 (含自家営業)			7	1	8	0.13
無業者			4	4	8	0.13
未定			12	10	22	0.34

(7) 熊本市奨学金制度 (指導課)

ア 目的 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付け、社会に貢献し得る人材を育成する。

イ 貸付要件 次の要件をすべて満たす者

- ・熊本市に居住する者の被扶養者であること。
- ・学校教育法に規定する学校等 (高校、高専、大学、短大、専修学校の高等課程及び専門課程) に在学していること。
- ・経済的理由により修学が困難であると認められること。
- ・国、他の地方公共団体若しくはその他の団体からの奨学金 (貸付けによるものに限る。) 又はこれと同種の貸付けを受けていないこと。

ウ 貸付金額及び定数

区分	定数 (人)	種別	貸付月額	自宅外通学生 加算額 (月額)	第1学年加算額 (初回のみ)
高等学校 高等専門学校 専修学校 (高等課程)	380	国・公立 私立	18,000 円 30,000 円	—	50,000 円 100,000 円
大学 短期大学 専修学校 (専門課程)		国・公立 私立	42,000 円 51,000 円	6,000 円 10,000 円	150,000 円 200,000 円

注1 加算は、申請に基づき付加する。

注2 申請により、貸付月額を2分の1に相当する額に減額することができる。

エ 貸付期間 在学する学校等の正規の修学年限

オ 返 還 奨学金の貸付終了後、決められた期間内で、貸し付けを受けた総額を年賦・半年賦・月賦のいずれかの方法で返還する。(無利子)

(8) 就学援助費（指導課）

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒について、就学に必要な費用を援助することにより、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

認定率・援助総額の推移

区分		年度		H27		H28		H29		H30		R1	
児童生徒数 (人)	小学校	40,790	61,061	40,236	60,090	40,747	60,321	41,045	60,122	41,922	59,854		
	中学校	20,271		19,854		19,574		19,077		18,932			
認定者数 (人)	小学校	5,889	9,365	6,093	9,532	6,005	9,326	5,785	8,981	5,655	8,838		
	中学校	3,476		3,439		3,321		3,196		3,183			
認定率 (%)	小学校	14.4	15.3	15.1	15.9	14.7	15.5	14.1	14.9	13.8	14.8		
	中学校	17.1		17.3		17.0		16.8		16.8			
援助総額 (千円)	小学校	413,238	786,511	417,805	796,248	428,111	807,297	423,597	798,354	401,710	763,174		
	中学校	373,273		378,443		379,186		374,757		361,464			

令和元年度（2019年度）支給実績

(単位 円)

区分	小学校		援助総額	中学校		援助総額
	1年	2～6年		1年	2・3年	
学用品費等	13,100	15,350	81,992,794	24,800	27,050	81,910,586
補助教材費	4,000	4,300		4,700		
新入学児童生徒学用品費	2年度入学前支給 51,060		41,826,420	2年度入学前支給 60,000		59,166,000
修学旅行費	実費		21,997,523	実費		57,429,706
通学費	実費		17,425	実費		62,650
医療費	実費		5,272,001	実費		1,702,079
学校給食費	実費		229,344,320	実費		148,623,642
校外活動費	実費		5,355,154	実費		7,739,480
合計			401,710,338			361,464,166

(9) 私学助成（指導課）

(単位 千円)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1
高等学校 中学校		31,529	29,999	29,999	29,999	29,999

(10) 国際交流の推進

アメリカ合衆国サンアントニオ市（姉妹都市）との交換留学制度（教育政策課）

ア 熊本市からの派遣（令和元年度（2019年度））

派遣人員	在籍校	派遣先
高校生 4名	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校	セントアンソニーカトリック高校 インカーネットワーク高校

イ サンアントニオ市からの受入（令和元年度（2019年度））

受入人員	在籍校	受入先
高校生 4名	セントアンソニーカトリック高校 インカーネットワーク高校	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校

(11) 学校給食（健康教育課）

ア 実施状況

(令 2.5.1 現在)

区 分	種 類	実施校数	児童生徒数	給 食 費	給食関係職員	
					栄養教諭等	給食技師等
小 学 校	完全給食	92 校	40,704 人	1 食単価 243 円	48 人	95 人
中 学 校	完全給食	42 校	19,044 人	1 食単価 295 円	19 人	10 人

イ 学校給食共同調理場

(令 2.5.1 現在)

施設名（開設年月）	所 在 地	対 象 校
東共同調理場（昭 48.4）	東区東町 3 丁目 3 番 2 号	東野中、錦ヶ丘中、東町中、桜木中
西原共同調理場（昭 53.4）	東区保田窪 4 丁目 9 番 1 号	西原中、帯山中
城西共同調理場（昭 53.4）	西区小島 8 丁目 17 番 1 号	城西中、三和中、飽田中、県立かがやきの森支援学校
京陵共同調理場（昭 54.4）	中央区京町本丁 1 番 14 号	京陵中、竜南中、白川中、藤園中
日吉共同調理場（昭 54.9）	南区日吉 1 丁目 4 番 50 号	花陵中、江南中、江原中、力合中、平成さくら支援学校
武蔵共同調理場（昭 56.4）	北区武蔵ヶ丘 4 丁目 19 番 1 号	武蔵中、清水中
出水南共同調理場（昭 58.4）	中央区出水 7 丁目 86 番 1 号	出水南中、出水中、湖東中、託麻中
井芹共同調理場（平 2.6）	西区上熊本 3 丁目 28 番 25 号	井芹中、西山中、北部中
長嶺共同調理場（平 5.4）	東区长嶺南 7 丁目 21 番 40 号	長嶺中、二岡中、東部中
龍田共同調理場（平 6.4）	北区龍田 7 丁目 9 番 16 号	龍田中、楠中、桜山中
城南共同調理場（平 8.4）	南区八幡 8 丁目 1 番 1 号	城南中、日吉中、富合中
富合共同調理場（平 11.3）	南区富合町清藤 472 番地	富合小、飽田東小
植木共同調理場（平 19.3）	北区植木町広住 342 番地 1	鹿南中、五霊中、植木北中、植木小、菱形小、桜井小

(12) 熊本市学校給食会（健康教育課）

名 称	公益財団法人 熊本市学校給食会
事務所の所在地	中央区新町 2 丁目 4 番 2 7 号 熊本市健康センター新町分室 2 階
設 立 年 月 日	平成 8 年（1996 年）4 月 2 日
目 的	学校給食法に基づき学校給食の普及・充実と食育推進に寄与するため、学校給食用の物資の適正・円滑な供給に努め、もって児童生徒の心身の健全な発達に資する。
事 業	<p>学校給食用物資の適正円滑な供給及び食育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物資購入委員会、青果物査定会、食肉査定会の開催 ・ 市産品導入の推進 ・ 特別栽培（減農薬）農産物等の導入推進 ・ 学校給食交流会の支援 ・ 学校給食用物資の生産地視察 <p>学校給食の普及・奨励（改善・充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録業者工場視察及び学校給食用物資納入懇談会の開催 ・ 納入業者対象の食品安全衛生研修会の開催 <p>学校給食の実施に必要な調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食用物資の定期検査及び放射能検査 <p>その他目的を達成するために必要な事業</p>
基 本 財 産	100,000 千円

(13) 熊本市教育センター

ア 施設・設備の概要

所在地	中央区千葉城町2番35号
施設内容	5階 機械室
	4階 大研修室
	3階 第1研修室 第2研修室 第3研修室 ICT支援室
	2階 第4研修室 中研修室 図書・資料室 多目的研修室
	1階 第5研修室 第7研修室 所長室 事務室 教育情報室 授業づくり支援室
	地階 機械室

イ 研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し教育上必要とする調査研究等を行い、成果の普及に努める。

調査研究

① 研究員活動

本市の教育施策にもとづき、教科領域等の授業改善、今日的課題解決及び学校事務運営に関する研究に取り組み、成果を積極的に現場に提供することで熊本市教育の充実と振興に役立てる。

- ・平成28年度（2016年度）委嘱研究員 17部会55人（委嘱期間 平28.6～平30.8）
- ・平成30年度（2018年度）委嘱研究員 8部会25人（委嘱期間 平30.4～平32.8）
- ・令和2年度（2020年度）委嘱研究員 10部会31人（委嘱期間 令2.4～令4.8 ※1年延期）
- ・検証授業の実施
- ・派遣研修の実施

② 研究論文・教育実践募集

教職員の研究論文・教育実践を公募することにより、今日的教育課題の先進的研究や日々の教育実践の工夫・改善を促し、教職員の資質向上及び本市教育の充実・発展を図る。また、研究や実践の成果を広め、活用することにより、本市の発展に寄与する。

- ・募集期間 令和3年（2021年）1月4日～1月8日
- ・各部門ごとに表彰を行う。

情報提供

① 資料の管理

熊本市教育センターに保管している書籍、教科書、研究紀要、指導案等の教育資料を管理し、学校現場等に貸し出すことで、学校教育及び社会教育の充実に資する。

- ・指導案、研究紀要の収集、保管、提供（データベース化）
- ・教育に関する書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出

② 教材・機器の管理・貸出

授業における補助教材・資料の作成、学校行事等で使用する資料の作成や、授業及び学校行事等で使用する教育機器の貸出・管理、学校等における教育活動の支援を行う。

- ・拡大印刷機、カラーコピー機、ラミネート加工等による教材作成
- ・プロジェクター、スクリーン、ビデオ教材等の貸出

教科書センターに関する事業

教科書センターは、教職員に対しては、教科書の調査研究の支援、学習指導のための資料提供、教科内容の常時研究に資するため、小学校及び中学校用の教科書を備え、利用に供することを目的とする。また、市民に対しては、教科書や教科に対しての理解を深めることを目的とする。

- ・熊本県主催教科書展示会 令和2年（2020年）6月12日～6月25日

各教育研究所との連携

熊本県立教育センター、熊本県教育研究所連絡協議会、九州地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、全国教育研究所連盟との連携を深め、研究成果を共有する。

ウ 研修に関する事業

研修を通して教職員のマネジメント力・実践的指導力・教師としての基盤の向上を目指すとともに、学校教育と家庭教育、社会教育の連携を図る。

○ J T 推進（現場で実際の業務を通じて学ぶ）研修

- ・研究モデル校、研究員活動
- ・派遣（パッケージ）研修
- ・教育情報の配信・提供
- ・授業力向上支援員派遣研修

S D（自己啓発）活性化支援研修

- ・教科等教育・実技研修（16講座）
- ・カウンセリング研修（1講座）
- ・教育の情報化研修（18講座）
- ・特別支援教育研修（4講座）
- ・トワイライト研修（8講座）
- ・教師塾「きらり」

○ F F - J T（学校外）研修

- ・経年者研修
初任者研修（11講座） 初任校（2年目）研修（4講座）
初任校（3年目）研修（5講座） 中堅教諭等資質向上研修（6講座）
教職員1年目研修（5講座）
15年経験者研修（4講座）
新規臨任研修（5講座） 2年目臨任研修（3講座） 3年目臨任研修（2講座） 「初めての学級担任」
臨任研修（1講座、インターネット配信）
臨任研専門研修【養護助教諭・学校栄養職員（臨時）】（各1講座）【幼稚園講師】（1講座）
- ・教育講演会（1講座）
- ・職能研修（14講座）
教育の情報化研修（2講座）
幼児教育研修（2講座） 新任管理職研修【校長・園長、教頭】（各6講座）

社会教育関係研修

- ・家庭教育研修（2講座）

エ 教育委員会の情報施策の推進に関する事業

教育委員会におけるICT活用及び情報機器の整備を通して、教育の情報化推進に取り組む。

教育の情報化に関すること

- ・教育の情報化推進に向けての企画調整
- ・学校におけるICT環境整備
- ・ICT活用研究モデル校（7校）による研究
- ・校務の情報化推進のための調査研究
- ・臨時休校対策に係るオンライン授業の実施手順、環境の整備
- ・教育の情報化に関するホームページ、YouTubeチャンネル、Facebook等による情報発信

研修プログラムの開発

- ・タブレット端末、電子黒板、プログラミング教材等のICTのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
- ・情報活用能力育成のための研修の開発
- ・情報モラル教育の啓発と普及研修の開発
- ・情報モラル教育推進リーダー研修の開発

教育の情報化研修講座

- ・教育の情報化に関する研修講座の実施
パッケージ研修、オンライン研修による教科等指導におけるICT活用、児童生徒の情報活用、情報モラル教育等の校内研修支援

教育情報ネットワークの企画管理運用

- ・ネットワークの運用管理及び次期ネットワークの検討
- ・情報端末管理（教員用ノートパソコン・タブレット端末等）
- ・教育センターホームページ運営
- ・ICT支援員による授業支援、校内研修等の支援、メンテナンス

情報セキュリティ

- ・情報セキュリティ対策実施手順の適切な運用実施
- ・学校等のセキュリティ研修

オ 授業づくり支援に関する事業

学校訪問等を通して、教職員の授業力向上の支援を目指す。

学校訪問・学校担当制

- ・計画訪問 2年ローテーションで全小中学校を訪問
- ・随時訪問 学校との情報交換のために、担当者が月1回程度訪問
- ・要請訪問 学校の要請に応じ、授業参観や校内研修等に参加し、学校と連携して諸課題に対応

各教科等研修の実施

- ・教科等主任会 ・学びわくわく熊本市の授業づくり ・教育課程研究協議会 ・体育実技研修会
- ・道徳教育推進協議会 ・道徳教育推進研修会 ・理科実験事故防止研修 ・食育・消費者教育

校内研修の支援

心かがやけ月間（道徳）の実施

4 図書館

本市では、熊本市立図書館を中心とし、分館3館（植木図書館、城南図書館、とみあい図書館）、くまもと森都心プラザ図書館、15公民館図書室、男女共同参画センターはあもにい、議会図書室及び移動図書館による図書サービスネットワークを構築し、図書サービスの向上に努めてきた。

また、市全体での図書サービス業務の改善や取り組みの方向性を整理した「図書サービスのあり方について」を平成27年（2015年）3月に策定し、より市民に利用される図書館となるよう図書サービスの向上に取り組んでいる。加えて、令和元年（2019年）11月には電子図書館を開設し電子書籍の貸出サービスを開始した。

主な実施事業

資料の充実：熊本市立図書館、分館、くまもと森都心プラザ図書館、公民館図書室の選書購入を一元的に行い、各図書館の機能や公民館図書室の利用傾向等を考慮した資料を収集した。

契約時期を見直し、図書購入事務を迅速化することにより、早期の図書提供を実施した。

サービスの充実：熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく「図書館における圏域住民の相互利用」において連携する市町村との相互利用を実施した。

電子図書館にて電子書籍の貸出サービスを提供した。

子どもの読書推進：子どもの発達段階に応じたおはなし会・紙芝居や読書への関心を高める多様な行事を開催した。

乳幼児期、小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けの良書を紹介した冊子等を作成・配布し、掲載図書の学校へのセット貸出等を実施した。

ア 施設

所在地 中央区大江6丁目1番74号

開館年月 昭和57年（1982年）11月

施設の概要 一般閲覧室、児童室、郷土・参考資料室、移動図書館車、ホール、集会室、ロビー、学習室

イ 蔵書数

【単位：冊】（令 2.3.31 現在）

	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：自然	5：技術	6：産業	7：芸術
市立図書館	18,919	19,912	51,616	69,679	36,568	31,196	17,122	42,043
市立 BM	1	175	163	223	276	590	153	118
植木図書館	1,094	2,709	4,844	7,737	4,533	4,409	1,964	3,986
植木 BM	8	33	77	46	74	158	46	47
城南図書館	1,397	4,162	6,116	10,170	9,015	8,217	3,089	7,067
城南 BM	16	49	70	83	87	109	48	98
とみあい図書館	1,327	2,271	4,138	6,379	6,119	7,085	2,287	5,515
プラザ図書館	10,098	20,286	28,226	68,236	31,986	34,817	18,253	31,824
東部	375	822	1,979	1,949	2,337	2,547	670	2,013
龍田	415	859	2,496	2,423	2,676	2,726	839	2,679
託麻	484	789	2,221	2,236	2,729	2,824	841	2,660
幸田	347	819	1,896	2,123	2,423	3,341	863	2,249
中央	212	507	848	1,200	1,324	1,729	414	1,101
清水	412	907	2,158	2,047	2,155	2,592	760	2,558
秋津	353	1,006	2,100	2,177	2,346	2,891	781	2,967
南部	317	999	1,628	1,984	2,269	2,989	749	2,344
花園	247	736	1,962	1,522	2,152	2,651	628	2,059
北部	296	522	1,121	1,259	1,461	1,874	442	1,220
河内	282	638	1,207	1,447	1,801	2,237	682	1,766
天明	314	623	1,066	1,481	1,609	2,124	652	1,542
飽田	501	975	2,016	2,249	2,461	3,216	1,065	2,559
西部	272	763	1,767	1,722	2,374	2,921	815	1,895
五福	158	427	893	1,096	1,301	1,723	421	1,122
はあもにい	0	0	1	1	0	0	0	0
電子図書館	104	187	277	446	265	428	167	331
合計	37,949	61,176	120,886	189,915	120,341	125,394	53,751	121,763
比率（％）	2.4%	3.9%	7.6%	12.0%	7.6%	7.9%	3.4%	7.7%

※ BM・・・移動図書館

	8：語学	9：文学	F：小説	E：絵本	紙芝居	コミック	その他	総数
市立図書館	8,572	93,593	90,579	61,492	2,972	2,284	29	546,576
市立 BM	4	548	2,338	871	32	0	0	5,492
植木図書館	1,031	7,119	14,172	9,286	723	1,339	2	64,948
植木 BM	1	101	455	0	0	0	0	1,046
城南図書館	2,333	10,078	17,866	9,803	234	71	9	89,627
城南 BM	24	107	560	71	12	0	0	1,334
とみあい図書館	1,118	22,099	16	8,683	155	795	73	68,060
プラザ図書館	7,983	37,311	42,128	15,340	0	1	702	347,191
東部	412	3,694	7,575	7,437	43	0	0	31,853
龍田	528	4,951	7,785	5,633	0	0	0	34,010
託麻	456	5,134	7,906	5,711	0	0	0	33,991
幸田	540	4,045	9,160	6,132	94	59	1	34,092
中央	271	2,078	2,839	1,802	0	0	0	14,325
清水	390	4,265	8,647	6,088	18	3	0	33,000
秋津	417	4,702	8,505	5,733	60	5	0	34,043
南部	412	4,351	10,123	5,494	33	8	0	33,700
花園	411	4,812	9,369	5,358	272	1	0	32,180
北部	226	2,796	6,943	4,539	0	0	0	22,699
河内	297	2,721	6,700	4,198	0	8	0	23,984
天明	321	2,673	7,503	3,862	125	0	0	23,895
飽田	495	3,916	8,025	5,663	130	46	0	33,317
西部	403	3,135	8,352	5,579	83	0	0	30,081
五福	269	1,705	4,758	3,531	8	0	0	17,412
はあもにい	0	0	0	0	0	203	18,996	19,201
電子図書館	130	2,034	2,888	291	0	216	1,944	9,708
合計	27,044	227,968	285,192	182,597	4,994	5,039	21,756	1,585,765
比率 (%)	1.7%	14.4%	18.0%	11.5%	0.3%	0.3%	1.4%	100%

※視聴覚資料の蔵書数（13,590点）、雑誌（17,479冊）は含まない。

※その他 新聞18紙 雑誌400誌（購入のみ）

ウ 利用案内

図書の貸出

区 分	貸 出 冊 数		貸出期間	登 録 要 件
個 人 貸 出	熊本市立図書館 植木図書館 とみあい図書館 城南図書館 プラザ図書館 公民館図書室 はあもにい 議会図書室	全館（室）合 わせて一人10冊以内	2週間	市内に居住か通勤、通学及び図書資料の貸出に関する協定を締結している市町村にお住まいの方 登録者数 262,920人 (令和2年(2020年)3月31日現在)
	移動図書館		次回巡回日まで	
	電子図書館	一人3点以内	2週間	市内に居住か通勤、通学している方
団 体 貸 出	家庭文庫、子ども会、公民館、学校等	一回に300冊まで	2ヵ月	市内の地域団体、社会教育団体、その他これらに類する団体等

視聴覚資料及び機材の利用

	対 象	資料及び機材	利 用 方 法
個 人 視 聴	個 人	ビデオソフト・DVD	1F・閲覧室で利用 (視聴覚ブース：一般席・児童席各1席)
団 体 貸 出	市内の幼・保育園・学校・社会教育団体・地域団体等	16ミリ機材・フィルム ビデオソフト・デッキ 映写機、スクリーン 暗幕必要枚数・プロジェクター	資料：5巻以内 機材：1台 貸出期間：3日間

エ 利用状況

図書の利用状況

(令和元年度(2019年度))

区 分	市立図書館 (BM含)	植木図書館 (BM含)	城南図書館 (BM含)	とみあい 図書館	プラザ 図書館	公民館図書室		
						東 部	龍 田	託 麻
登録者数(人)	121,481	10,391	9,233	5,811	36,950	11,564	7,136	8,243
貸出者数(人)	220,455	39,604	46,190	26,535	106,598	52,188	28,396	29,506
貸出冊数(冊)	803,242	186,987	203,928	117,185	361,330	171,895	102,666	118,409

区 分	公 民 館 図 書 室							
	幸 田	中 央	清 水	秋 津	南 部	花 園	北 部	河 内
登録者数(人)	7,564	2,288	7,781	5,659	5,701	5,235	3,391	872
貸出者数(人)	25,757	10,532	26,701	21,439	16,583	20,311	11,099	2,862
貸出冊数(冊)	97,933	28,699	99,673	82,157	58,329	71,215	39,670	10,508

区 分	公 民 館 図 書 室				はあもにい	議会図書室	電子図書館	計
	天 明	飽 田	西 部	五 福				
登録者数(人)	1,353	2,887	6,291	1,914	1,175	0	0	262,920
貸出者数(人)	3,612	9,505	21,233	8,707	7,643	2,477	8,876	746,809
貸出冊数(冊)	11,869	36,882	80,132	26,110	18,429	4,793	9,918	2,741,959

(注) 団体貸出冊数を含む。 ※ BM・・・移動図書館

視聴覚コーナー利用状況

(令和元年度(2019年度))

区 分	ビ デ オ	DVD	合 計
利用者数(人)	205	177	382
保有数量(枚・本)	1,278	666	1,944

区 分	16ミリ フィルム	16ミリ 映写機	ビデオ	ビデオ プレイヤー	DVD	DVD プレイヤー	プロジェク ター
利用者数 (団体)	25巻	4台	365本	9台	277本	20台	27台

5 熊本博物館

熊本博物館は、昭和27年に熊本城内に設置され、勸業館時代を経て昭和53年に現在の場所に開館した。平成27年から着手した全面改修を終え、平成30年にリニューアルオープンし、自然科学・人文科学部門にプラネタリウムを加えた総合博物館として、郷土文化の発展に寄与することを目的とし、熊本に関する資料を中心に収集・展示を行っている。

(1) 概要

ア 施設

所在地 中央区古京町3番2号

イ 展示室

① 常設展示室

半世紀を超える運営によって形成された膨大な記録・記憶の蓄積がある常設展示室では、全体テーマを『未来へつなぐ熊本の記憶 集める・伝える・創造する』とし、国指定重要文化財の「才園古墳出土品」と永青文庫所蔵の「細川家舟屋形」の展示など、熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを示しながら各分野間のつながりを意識した展示を行い、長い時間を経た知の蓄積を市民へ楽しくわかりやすく伝え、未来へ継承することを目指している。また、県市連携展示室を設け、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する貴重な資料も展示し、市・県内外へ展示内容の価値や魅力をアピールしている。

② 特別展示室

重要文化財等の展示に対応した三つの特別展示室が整備されている。特別展示室3はフレキシブルな展示が可能である。

ウ 館内展示風景(常設展示)



(2) 活動状況(令和元年度(2019年度))

ア 特別展

(R2.4.1 現在)

展 示 会 名	期 間	入場者数
世界の昆虫	7/20 ~ 8/25	17,126名
追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—	10/5 ~ 11/24	1,366名

イ 企画展

展 示 会 名	期 間	来館者数
きらめく！大名道具—細川家の「華」と「武」の世界—	4/20～7/7	19,486名
自然のおいしい味わい方	6/8～7/7	8,039名
「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一 —熊本で見つけたモノ—	2/8～2/28※	3,435名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2/28で終了

ウ 共催展

展 示 会 名	期 間	来館者数
第11回地質の日企画「身近に知る『くまもとの大地』」	5/12～6/2	3,463名
くまもと工芸会館 企画展「暮らしを支えた民藝展」（於：くまもと工芸会館）	8/9～8/25	933名
国立科学博物館・コラボミュージアム in くまもと 生命のれきし—君につながるものがたり—	12/3～1/26	9,593名
第53回 肥後しゃくやく展（於：塚原歴史民俗資料館）	5/4～5/5	—

エ 講演会

行 事 名	期 日	参加者数
蔵出し考古展「鏡・玉・剣」関連イベント「熊本市の青銅器文化」講演会	8/18	43名
特別展「追憶の熊本」関連イベント展覧会事前講座「忘れられた画家?! 甲斐青萍～秋季特別展《追憶の熊本》に向けて～」	9/21	5名
特別展「追憶の熊本」講演会「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」	10/12	48名
特別展「追憶の熊本」関連イベント「熊本城下まち歩き」	10/26	12名
特別展「追憶の熊本」講演会「熊本地震からの城下の復旧について」	11/4	38名
「生命のれきし」関連講演会「きみの耳には恐竜がいて?! だから、きみは哺乳類」	1/11	108名
「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一 —熊本で見つけたモノ— 関連講演会①「宮本常一、旅の足跡」	2/8	65名

オ プラネタリウム

行 事 名	期 日	参加者数
一般放映番組 火星～その先の宇宙スペースエクスプロア 他	4月～2月	—
字幕付きプラネタリウム	6/8 他3回	531名
特別放映 賢治の星のものがたり～双子の星～（読み聞かせ）	6/9	170名
人工衛星つばめ宇宙教室	8/31	160名
熟睡プラ寝たりウム	11/23	140名
ポーリーさんのホーリーナイトプラネタリウム	12/1	100名
天文講演会 宇宙の不思議：ブラックホール	7/7	170名
天文講演会 似ている？似ていない？「あかつき」金星の素顔に接近中	10/26	60名
天文講演会 ホットな宇宙を探る	12/22	55名

カ 通年講座

講座名	回数	参加者数
地質学講座	6回	113名
動物学講座	7回	112名
植物学講座	8回	146名
考古学講座	8回	58名
民俗学講座	10回	355名

キ その他の事業及び行事等

行事名	期日	参加者数
子ども科学・ものづくり教室（28回開催）	4月～2月	2,067名
ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業：9校実施）	9月～2月	960名
館内学習支援活動（お迎え事業：16校実施）	6月～2月	734名
講師派遣（25回開催）	4月～2月	2,278名
教職員研修（5回開催）	7月～8月	45名
博物館実習生受け入れ	8/27～9/1	10名
職場体験・インターンシップ受け入れ	7月～10月	7名
ゴールデンウィークイベント 火起こし・石臼体験！「きな粉を作ろう」他	4/27～5/6	831名
くまはく誕生月間 静電気グッズを作って遊ぼう 他	2月	376名
ミュージアムトーク 魚類の毒について 他	4月～1月	408名
身近に知る「くまもとの大地」びぶれす広場イベント	5/11	約900名
夏休み自由研究相談会	7/20、8/17	12名
夏休み化石観察会	7/27	47名
コズミックカレッジ「宇宙飛行士に挑戦」	8/24	30名
アウトリーチイベント「科学実験で宇宙・惑星・地球の不思議を体験しよう！」	10/27	534名
クリスマスツリーをアンモナイトでかざろう	12/22	28名
ぬりえで復元！ステゴサウルス	12/28	76名

ク 入場・プラネタリウム観覧 (H 31.4.1 ~ R2.3.31)

		入 場 (人)	プラネタリウム観覧 (人)	
有 料	個 人	一 般	31,370	18,926
		高校・大学生	2,204	1,351
		小・中学生	8,571	12,961
		未 就 学 児	—	154
	団 体	一 般	922	289
		高校・大学生	574	521
		小・中学生	1,081	1,418
		未 就 学 児	—	160
	年 間 入 場 券	一 般	680	—
		高校・大学生	29	—
		小・中学生	33	—
	小 計	一 般	32,972	19,215
高校・大学生		2,807	1,872	
小・中学生		9,685	14,379	
未 就 学 児		—	314	
無 料	一 般	13,618	1,821	
	高校・大学生	245	123	
	小・中学生	14,609	3,802	
	未 就 学 児	13,004	4,642	
総 計		86,940	46,168	

(3) 資料

資 料 分 野	資 料 点 数
地 質	20,182
動 物	60,792
植 物	16,865
理 工	135
考 古	10,224
歴史美工	18,469
民 俗	13,561
合 計	140,228

ア 人文科学関係

考古資料では、国指定重要文化財のあさぎり（旧免田）町才園古墳の出土品（寄託品）、元熊大医学部長故山崎正董博士の古瓦コレクションなどがある。歴史資料では、加藤清正関係資料、細川氏関係資料のほか、近世期古文書類、西南戦争関係資料などがある。美術工芸資料では、重要文化財の木造東陵永瑛禅師倚像（管理団体：熊本市）などがある。民俗資料では、元熊本商大学長故丸山学氏の寄贈資料をはじめ県内各地から幅広く民具を収集している。

イ 自然科学関係

哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物・古生物化石類など、熊本県産の実物標本を中心とした資料があり、屋外展示場には9600形蒸気機関車（69665号機）の実物がある。

岩石・鉱物資料では、元熊大教授故松本唯一博士が全世界から採集されたコレクション、貝類では元熊大医学部長故山崎正董博士のコレクション、昆虫では故古賀三郎氏の世界の蝶コレクションなどがある。

ウ プラネタリウム

ドーム直径16m、座席数180席、光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」と全天周映像システム「バーチャリウムⅡ」の組み合わせにより、自然の星空を忠実に再現するほか、遠い宇宙の果てまでの姿を観測データを基に高精細に描き出し、ドームいっぱい到大迫力の映像を投映する。